

平成26年度上半期活動状況報告

— 11月7日 —

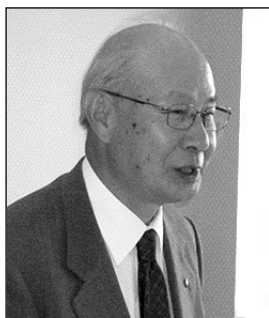
平成26年11月7日（金）東京アーバンネット大手町ビル東京會館に於いて、午前10時半より正・副会長会議を開催し、この後行われる理事会の運営内容や会員の減少に伴う今後の支部活動のあり方、理事会の書面決議等について意見交換を行った。昼食後直ちに理事会が行われ、上半期の活動状況等が報告された。

開催日時 平成26年11月 7日（金）11時30分～13時30分

場 所 レベル21 東京會館 シルバールーム
東京都千代田区大手町 2-2-2 アーバンネットビル 21階

議 案 第1号議案
上半期事業活動報告及び下半期事業活動に関する件
（1） 会員動向
（2） 上半期事業活動報告及び今後の活動について
（3） 上半期収支決算報告
（4） 監査報告
（5） その他
第2号議案 その他

開 会 奥山専務理事の司会により開会、はじめに配布した資料を確認、続いて 國分勲兵衛会長が次の如く挨拶を行った。



理事会で挨拶する
國分勲兵衛会長

「本日はご多用の中、またご遠方からも、ご参集をいただき誠にありがとうございます。とりわけ、農林水産省からは公務ご多用の中、食品製造卸売課から矢花課長様はじめ幹部のご来臨を賜り、誠に有難く厚く御礼申し上げます。

また、本日ご参集の皆様方には、日頃から日食協活動に多大なご支援を頂戴いたしておりますこと、重ねて心より御礼申し上げます。

さて、消費税増税後の景気動向ですが、経済産業省の発表された9月の商業販売統計では、9月の小売業販売額が前年同月比2.3%増と3ヶ月連続して前年を上回ったとの発表がなされています。ただこれは都市部での高額品等の販売寄与が大きいようで、我々業界に関連する食料品などの消費が中心のSM3団体の統計では、加工

食品などの一般食品は小売業の既存店ベースでの売上げは前年同月比3.6%マイナスであったとのことであります。このように都市部と高額品は堅調、地方と日用品は苦戦と消費動向は二極化しております。日用品の不振の原因は、いまのところ決定的な要因が見当たらないようで、天候不順による飲料などの季節商品の伸び悩み、一部値上げ商品での客離れ、業態間の価格競争の激化等が複合的に作用しているとの見方もあります。さらには消費行動や社会環境の変化も影響しているとの分析もあります。具体的には前回増税時の97年と違って一段と高齢者が増加したことや世帯構成成人数の減少等があります。こうした状況ではありますが、一部のスーパーは（ヤオコーさんやライフさん）極めて業績が好調ともうかがっております。やはり消費者に対してぶれない発信力をもって消費者に訴求している企業は評価されているのではないかと思います。

12月には安倍総理大臣が消費税率を予定どおり10%に引き上げるかどうか判断するわけですが、景気の動向を慎重に見極めるのは当然であります。政府として公共事業を円滑に執行すること、法人税の減税を具体的に詰めること、規制改革を一段と進めることなどを積極的に行って景気或いは成長戦略を下支えする事が必要かと思えます。また消費税が10%時に導入が予定されている軽減税率制度につきましては、8月末の与党税制協議会の業界ヒアリング時に弊協会として10%までは軽減税率を導入しないで単一税率制度維持して欲しいことを要望しましたが、今後の動きを注視してまいりたいと思えます。今度経産大臣になられた宮澤さんも業界ヒアリングに出ておられましたが、大臣就任会見で軽減税率制度にふれて、食料品の線引きや国民全体の合意形成の難しさ、さらにはインボス制度の浸透には相当の時間が必要との見解も話されておりました。与党の中でも制度設計の合意には相当苦労されるような感じでございます。市場規模が広がらない中で物流環境が、かつて経験した事のないような事態で推移しているなど、業界としても正念場を迎えているような厳しい局面にあると認識いたしておりますが、一部メーカーさんが値上げの予定を発表されていることもございますので、商慣習の是正も含めて取引環境改善の機会と捉えて、小売業さんに充分ご認識いただいて円滑な流通を維持するためにも適正な流通マージンで商売ができるよう環境改善に努力して、質への転換を少しでも確保しながら前進を重ねていくべきと考えておりますので、ご協力を御願い申し上げます。また本格的な流通再編の進展から弊協会の会員卸も大幅に減少し直近では121社となっております。支部によっては会の運営を再考すべきところも出てくるかと思っておりますが、協会運営には引き続き格別のご協力をお願い申し上げます。

本日は上期の活動状況についての報告をお聞き届けの上、下半期に対してのご指導をお願いすることにしております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。簡単ではございますが開会のご挨拶とさせていただきます。」

続いて、司会者より本日の来賓者を紹介する。

農林水産省食料産業局食品製造卸売課	課長	矢花 渉史	様
同じく	課長補佐	平山 治	様
同じく	当協会担当窓口 係長	上田 麻由子	様



理事会で挨拶する
農林水産省食料産業局
食品製造卸売課 矢花課長

引き続き来賓を代表して、農林水産省食料産業局食品製造卸売課矢花課長から最近の農林水産省や食品業界を取り巻く情勢について紹介があり、特に「介護食品の在り方、食品表示一元化、消費税軽減税率、食品ロス削減」について一層の理解と協力の要請があり、最後に、日食協の益々の発展と参加役員のご健勝を祈念され挨拶を終えた。

出欠状況	理事総数	23名	出席理事	13名	欠席理事	10名	
	監事総数	2名	出席監事	2名			計 15名

司会者が資料に基づき出欠状況を報告、会の成立とともに定款第31条第1項の規定に則り、國分会長に議長就任をお願いして議事の進行をお願いする。

それを受けて議長は議事に入った。

第1号議案 上半期事業活動報告及び下半期事業活動に関する件

議長より、第1号議案を報告するよう指示があり専務理事より概況及び事業活動のポイントを資料に則り報告された。

- ①会員動向の件
- ②消費税の軽減税率に関する要望について
- ③納入業者との取引の公正化について
- ④平成27年度 税制改正等に関する要望書について
- ⑦製・配・販連携協議会の活動概要と今後の運営体制について
- ⑧社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）について
- ⑨物流合理化に関するお願いについて
- ⑩低炭素社会実行計画について
- ⑪不当景品類及び不当表示防止法の一部を改正する法律案について
- ⑫今後の食品リサイクル制度のあり方について
- ⑬天気予報で物流を変える～業界初の試み～について
- ⑭上期決算財務諸表

以上の項目が順を追って説明された。

同時に上半期の収支決算の内容を説明し、更に、10月30日に監事各位により監査を受けた経緯を報告した。

議長はここで監事に監査報告を求め、升本 正 監事は「去る10月30日に事業活動の報告を受け、会計帳簿とこれに関する帳票・証憑につき調査を行い、対象事業期間の計算書類及び付属明細書について、すべて法令並びに定款に従い適正に処理され、法人の財産及び損益の状況について正確に示しているものと認めました」と報告をした。

議長はここで、事務局より報告が有った第1号議案の全ての事業活動及び収支決算の内容に対しての質問・意見等求めたが、異議なしの掛け声と拍手を以って承認された。

第2号議案 その他

議長は、用意した議案は以上であるが他に何か意見・質問等が有ればと声を掛けたところ何も無かったので、事務局より連絡事項があればお伝えするよう指示があり

事務局より今後の理事会の開催予定は

正・副会長会議及び理事会	平成27年	3月27日（金）
同	平成27年	4月24日（金）
理事会及び定時総会	平成27年	5月28日（木）

であり、特に4月開催の理事会に関しては、各理事の時間的な負担の軽減も視野に、法令並びに定款の定めによって可能となっている書面決議による開催が提案された。

議長はここで、事務局より報告が有った第2号議案の理事会の書面決議に対しての質問・意見等求めたが、異議なしの掛け声と拍手を以って承認された。

以上をもって議案の全部を終了したので、13時30分議長は理事会の閉会を宣した。

上記の議決を明確にするため、代表理事及び監事が次に記名押印する。

平成26年11月7日

一般社団法人日本加工食品卸協会 理事会
出席代表理事 國分勘兵衛
出席監事 升本正
同 品田英明



理事会 会場